

選考方法・評価などについて

AO入試(前期)選考方法

① エントリーシート

志望動機などを600字以内で、自由に記述してください。

② 持参作品

持参作品とは、面談日にもってきってもらう「作品」です。「作品」は、絵画、デッサン、イラスト、立体、彫刻、デザイン、工芸、映像、CG、写真など、受験生本人が制作したものです。それらの「作品資料ファイル」でもかまいません(映像作品などで、その場で見るできない場合は、預かることがあります)。

その他、文化祭や学校行事などの文化イベントの企画・運営を行った人は、その「資料ファイル」などでもかまいません。

③ 実習体験

教員の指導にしたがって、作品をつくります。

④ 面談

1人15分程度の個人面談を行います。教員と受験生のコミュニケーションを大切にしながら、美術やクラフトに対する、意欲や可能性を見出すことを目的とします。主な面談の内容は、実習体験の感想、持参作品に関すること、造形美術やクラフトに関すること、将来の目標などです。

AO入試(前期)評価方法

上記選考項目を総合的に評価します。

※実習体験で制作した作品は、評価の対象とはなりません。

AO入試(後期)選考方法

① エントリーシート

志望動機などを600字以内で、自由に記述してください。

② 持参作品

持参作品の内容については(前期)を参照してください。ただし(後期)の持参作品は3点以上とします。

③ 面談

1人15分程度の個人面談を行います。教員と受験生のコミュニケーションを大切にしながら、美術やクラフトに対する、意欲や可能性を見出すことを目的とします。主な面談の内容は、持参作品に関すること、造形美術やクラフトに関すること、将来の目標などです。

AO入試(後期)評価方法

上記選考項目を総合的に評価します。

AO入学準備プログラム (前・後期共通)

入学準備プログラムは、大学入学に向けて実力と意欲を高めることを目指して実施しています。各プログラムは、基礎的な造形表現力の養成や、美術・クラフトに関する知識の向上を図る内容となっています。提出課題は、個別に講評文をつけて返却します。

実習体験の例

用意されたさまざまな紙素材を用いて、テーマに沿って造形表現しなさい(水性絵の具を用いて着色可)。

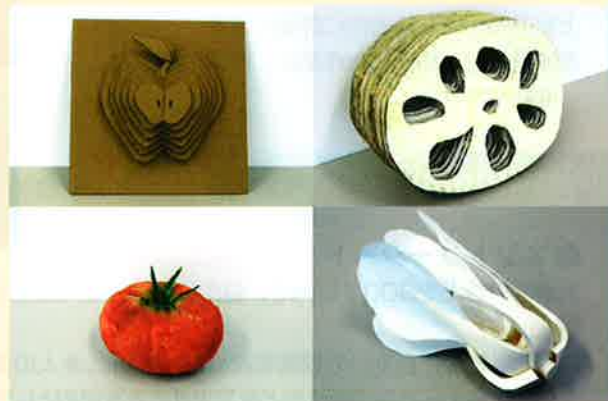
テーマ▶「くだもの」

材料▶コピー用紙、ケント紙、画用紙、イラストボード、トレーシングペーパー、スチレンボード。

ポイント▶複数の紙素材を組み合わせることで生まれる造形表現の可能性について、理解を深めます。素材のもつ特徴や、魅力をつかむことがポイントです。教員と相談しながら、各自制作します。



実習体験 制作風景



実習体験作品

AO入学準備プログラム講評風景



▼昨年度例

1. 鉛筆デッサン①

デッサンを通して、造形表現に必要な観察力と描写力の向上を図ります。10月の大学祭に集合し、全員で講評会を行います。

モチーフ……タマネギ、白色の布、半分まで水が入った透明ガラスコップ。

2. 鉛筆デッサン②

前回の講評を受けて、デッサン力の一層の向上に取り組みます。講評は、文書で各自に送付します。

モチーフ……リンゴ、ティッシュの箱、ステンレスのフォーク。

3. 卒展見学

本学の卒業制作展などを見学します。作品を実際に見ることの大切さを学び、見学を通して仲間や教員とのコミュニケーションを図ります。